



新北市藝游

2025
10月號

Click

Quack !

超感官影像體驗展

感覺器官【OFF / ON】

2025/ 10.03 Fri. - 2026/ 03.01 Sun.

府中15 (新北市板橋區府中路15號) 09:30 → 17:00

カバーストーリー



感覺器官 OFF/ON — 超感覺的映像體驗展

映像や音声シグナルが絶え間なく流れ込む生活リズムの中において、身体感覚は屢々待機状態に陥り、周囲の刺激に対する反応は次第に鈍くなっていくもので、《感覺器官 OFF/ON—超感覺的映像體驗展》は観客に感覚を再起動させることを促し、映像・音声・そしてソーシャル言語が人間の知覚体験及び自己形成にどのような影響を及ぼすかを観察し、感覚がデジタル環境において、如何に拡大され、フォーマット化され、更に演算・構築されるのかを探ります。

本展では、映像、音響、インタラクティブ技術、そしてソーシャル文化といった分野を跨る8組の芸術家及び創作チームが集結します。観客は4階建ての展示ルートを進みながら、「虚実の境界 ログイン中」「感覺システム 再起動中」「感情シグナル 解読中」「アイデンティティ・モジュール 演算中」といった段階を経て、シグナルの受信、感情の表出、そして自己形成へと至るプロセスを体感することができます。

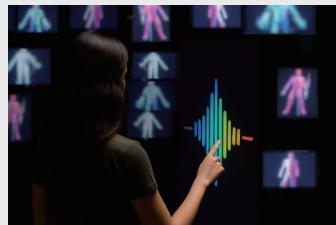
芸術家の謝昕妮様による《Here-Now-Po-

sition 過去，現在，現在》を皮切りに、本展は昭和のテレビ、CRT映像管から現代スクリーンに至るメディアの変遷を振り返り、「見るということ・見られるということ」の関係性を改めて問い直します。感覚の再起動を促す陳昱榮様による《空間アルゴリズム—流動的な境界》では、温度・音響・風速といった環境データをリアルタイムに映像及び音に変換し、観客はその空間に身を置きながら、情報の流れが知覚を如何に形作るか体感できます。続いて、黄郁文様（空間デザイナー）及び陳凱育様（写真家）による《府中ASMR》は、街路・市場・路地裏といった所で収録された実音音を通じ、最も純粋な聴覚の次元に立ち戻り、サウンドトラックを伴わない街の音風景の旅を創り出しています。観客は書類箱で構築された半閉鎖的な空間で静かに耳を澄まし、まるで街及び身体に属する音響のアーカイブを捲るように日常の音と再び結びつくことができます。最後に、吳修銘様の《虹の舞台》では、観客の音声データをプログラムで解析し、その音を動的な色彩映像

へと変換し、発声の度に専属のビジュアルシーンを生成させています。

ソーシャルメディアの文脈においては、感情は絵文字、ミーム、ステッカーといった視覚言語へと素早く変換されています。本展の作品《ソーシャル語彙遊戲場》では、これらのイメージ言語の多様性及び制約をインタラクティブなゲームとして提示しています。アニメーションデザイナーの林立様の《Emo集》はemoji絵文字を語彙素材とし、ジグソーパズルのような未来の言語世界を創造し、感情とコミュニケーションが脱文字化・多様化する視覚時代へと移行している姿が象徴されています。

本展はソーシャルプラットフォーム及びアルゴリズムがアイデンティティ形成に如何に関与しているかに焦点を当てて締めくくられています。陽春麵研究舎の《Internet-Labeling me》は芸術家の自撮り写真及びこれまでの検索履歴を公開展示し、観客がタグ付けに参加することにより、デジタル時代において、「私」がどのように定義され、単純化されているかを考察することができます。吳修銘様の《C9-3オーディション館》はAndy Warholのオーディションの概念を参照し、観客が自由に舞台に上げられる仮想空間を構築し、音声及び映像が即時演算され、アイデンティティの姿を生成するデジタル環境における多



感覺器官 OFF/ON — 超感覺的映像體驗展

🕒 10/03-2026/03/01
📍 府中15
☎ 02-2968-3600
🌐 www.fuzhong15.ntpc.gov.tw



編輯者の選択



「石の物語り—石の由来及び物語」特別展

石は私達の日常生活の中で至る所に見られるのみならず、人類の営みにも深く影響を与えてきました。石を知することは動植物を知ることと同様に、人類がこの世界の姿や形成の仕組みを理解する上で重要な過程だと言えます。更に、石を通じ、人類の歴史を逆方向に遡ったり、内面及び外面の繋がりを探ったりすることさえもできます。如何なる側面から見たとて、石は常に人類が世界を探究し、文明を推し進める為の重要な媒体であり続けてきたのです。

本展では、一般の方々に「石」と「岩石」の科学的な違いを理解していただき、身の回りにある小さな石一つ一つにも探求する価値のある物語が潜んでいることを

実感して頂く為、展示品の出所は日本の中央大地溝博物館及び石見銀山世界遺産センターを始め、国内からは国立台湾博物館、国立自然科学博物館、国立台湾史前文化博物館等の収蔵品に加え、台湾宝石科学研究学会や多くの鉱石コレクターによる貴重なコレクションを含む120点を超える貴重な鉱石も展示されています。開幕当日の午後には、台湾と日本両地の博物館学芸員による特別展テーマサロンを開催致します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



🕒 10/20-2026/09/20
📍 新北市立黄金博物館
☎ 02-2496-2800#2811
🌐 www.gep.ntpc.gov.tw



月光の織り成す恋シリーズイベント

国定史跡に指定されている「林本源園邸」では、「霞海月老が林園に来たる」と題したブランドイベント及び夜間プロジェクションマッピングショーは台北霞海城隍廟の諸神が駐座し、加護を受ける祈願と林園古跡の楼閣を背景に、歴史文化及びテクノロジー芸術を融合させた愛をテーマにした夜間体験型イベントです。

昼間のイベントでは、霞海月老に纏わる民俗体験に加え、歴史的な庭園邸宅の空間にて芸術・文化パフォーマンスや手作りワークショップ等が開催され、カップルや友人、親子連れ等、訪れた全ての人々が庭園楼閣の中で幸せな思い出を刻むことができます。又、イベント期間中

は消費特典及びスタンプ集めキャンペーンを実施し、スタンプラリーに参加すると、無料の限定ポストカードを獲得でき、特別な記念品として持ち帰ることができます。

ダンスパフォーマンスには特別に演技及び光と影のインタラクティブにより、ロマンチックな雰囲気醸し出します。更に「愛の願い」という祝福の光と影の体験を取り入れ、観客はスマートフォンを用いて、リアルタイムにオリジナル画像を制作し、即座に古跡の建物に投影することができます。また、光のショーと一体化させ、あなただけの愛の物語が描き出せます。



🕒 10/04-12/27
📍 國定古蹟林本源園邸
☎ 02-2965-3061#23
🌐 www.linfamily.ntpc.gov.tw

